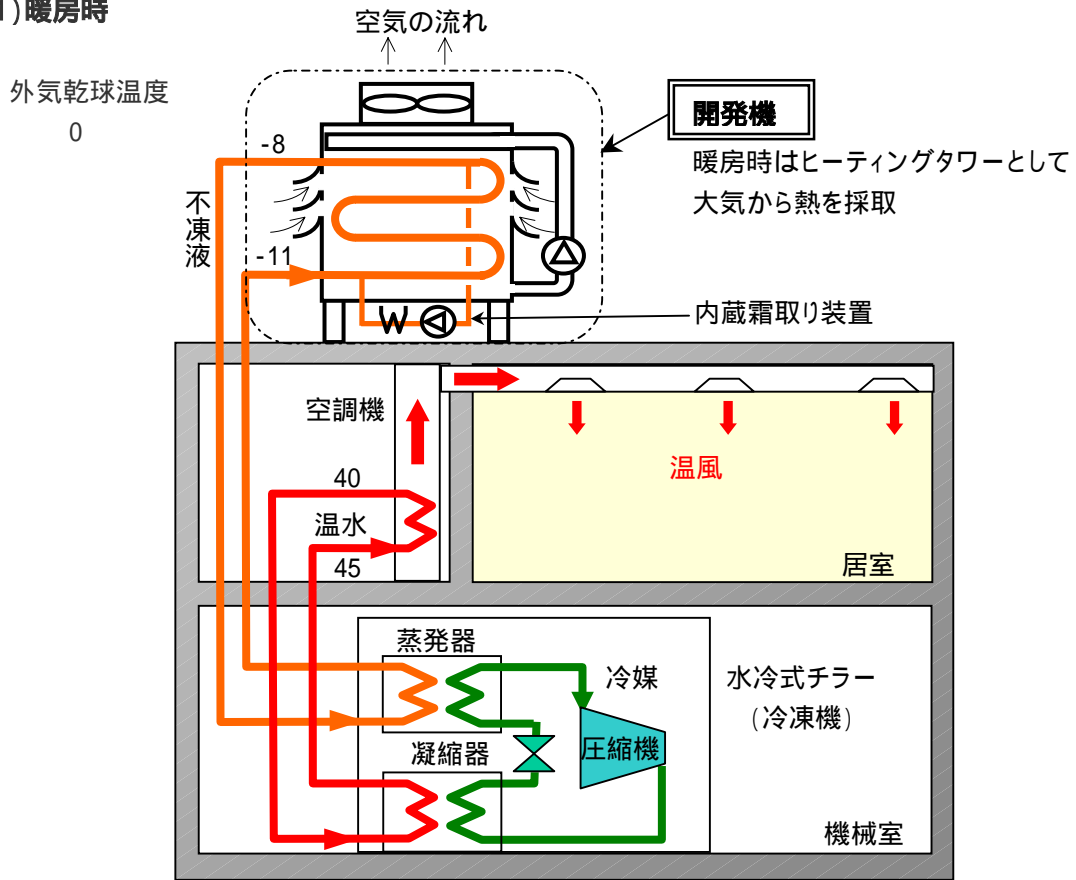


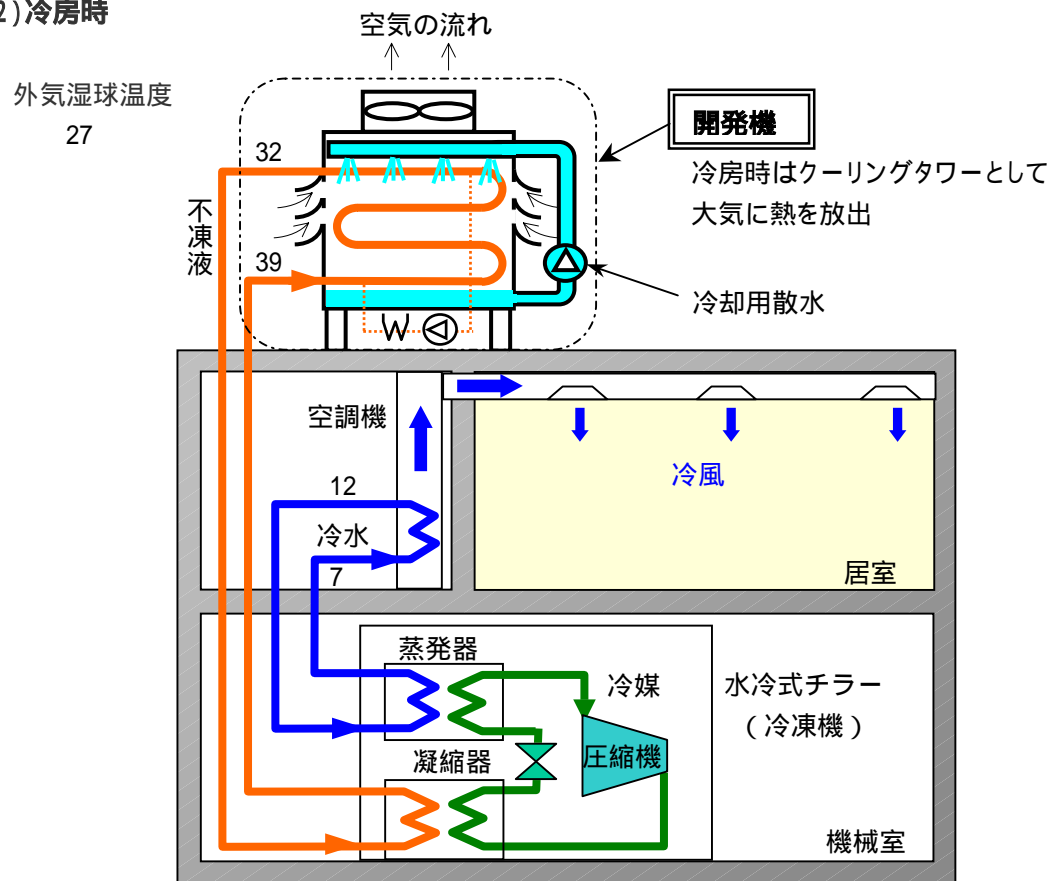
「低コスト・コンパクト・高性能 ヒーティングタワー」概要

1 システムフロー図

(1) 暖房時



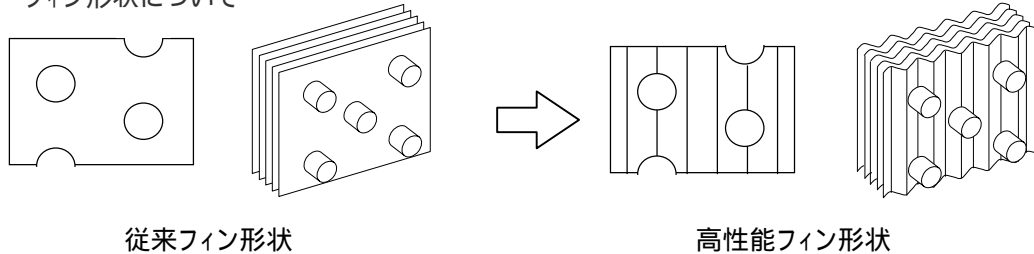
(2) 冷房時



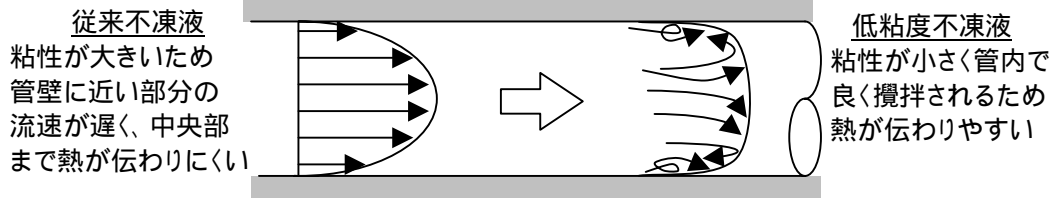
2 開発機外観および技術ポイント



注1 フィン形状について



注2 不凍液の粘性について



3 開発機仕様 (1台あたり^{注3})

項目		数値
冷房	冷却能力	454kW (100 冷却トン)
	不凍液入口温度 / 不凍液出口温度 / 外気湿球温度	39/32/27 ^{注4}
暖房	加熱能力	235kW
	不凍液入口温度 / 不凍液出口温度 / 外気乾球温度	-11 / -8 / 0 ^{注5}
寸 法		L2.9m × W2.3m × H4.1m
製品重量 / 運転重量		3.0t / 4.6t

注3 霜取り時は交互運転となるため2台以上でご使用下さい。

注4 JIS B 8609 の外気温度条件を準用

注5 空研工業の社内基準

4 ヒーティングタワー対応水冷式チラーについて

株式会社神戸製鋼所製の水冷式チラー「ハイエフミニ」など複数社の製品をお使いいただけます。